

保護者の皆様

札幌市立幌南小学校
校長 大宮 健一

令和8年度 文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果について

今春に実施されました標記調査の結果につきまして、校内での分析を終え、本校全体の児童の課題や改善の方向について下記のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

【全国の平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えします。】	
・+3.1ポイント以上	⇒「上回っている」
・+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上	⇒「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
・全国平均と同じ	⇒「ほぼ同程度」
・-3.0ポイントの範囲内で全国平均以下	⇒「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
・-3.1ポイント以下	⇒「下回っている」

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語	【領 域】 ☐ 言葉の特徴や使い方に関する事項 ほぼ同程度であるが、やや上回る ☐ 情報の扱い方に関する事項 全国平均を上回っている ☐ 話すこと・聞くこと 全国平均を上回っている ☐ 書くこと 全国平均を上回っている ☐ 読むこと ほぼ同程度であるが、やや上回る	●文章を読んで理解したこと に基付いて、自分の考え をまとめること。 ●漢字を文の中で正しく使 うこと。	○文章を読んで理解したこ とを整理すること、整理 した内容に自分の考えを 加えて目的を明確にして 書くことができるように する。 ○学習した漢字を文や文章 の中で使うことができる ようにする。
算数	【領 域】 ☐ 数と計算 全国平均を上回っている ☐ 図形 全国平均を上回っている ☐ 変化と関係 全国平均を上回っている ☐ データの活用 全国平均を上回っている	●百分率で表された割合と 比較量から、基準量を求め ること。 ●単位量当たりの大きさを 求める除法の式の意味を 理解し、その商から二つの 広場のどちらかの方が混 んでいるのかについて判 断すること。 ●示された二つの表から、集 計に誤りのある項目を見 付け、その根拠を表の中の 数と言葉を用いて記述す ること。	○割合の関係を、基準量・比 較量・割合の三つの量の関 係として捉えられるよう、 数直線や図を活用して考 えることができるように する。 ○除法の式が何を求めている のかを、図や数直線など を用いて具体的に捉えら れるようにする。加えて、 商が表す数量の意味を考 えることができるように する。 ○二つの表を関連付けて読 み取り、数値のつながりや 整合性に着目して、集計の 誤りを見付けることがで きるようにする。

《全国平均より肯定的な回答が上回っている項目》

- ☐ 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ☐ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ☐ 友達関係に満足していますか。
- ☐ 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

⇒「学校に行くのは楽しい」と感じている児童の割合は全国平均に比べて顕著に高く、自分と違う意見を大切しながら、集団生活の場において友達関係に満足し、充実した学校生活を過ごすことができていることが伺えます。また、今まで学習してきた事柄を大切にしながら、自分の考えをまとめ発表する学習を通して、自分の考えを伝える力を高めています。

今後も学校生活全体を通して、他者の考えを尊重しながら更なるきずなが育めるようにしてきます。

《全国平均より肯定的な回答が下回っている項目》

- ☐ 将来の夢や目標を持っていますか。
- ☐ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていますか。
- ☐ 学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

⇒将来の夢や目標に関することに課題が見られます。また、学級会などで互いのよさを生かして解決方法を決めたり、話し合いを生かして、自分の努力すべき事柄を決めたりすることに関しても課題が見られます。

今後は、自分の興味・関心や得意なこと、これまでの経験などを振り返りながら、将来について考えたり、身近な目標を設定したりする機会を充実させていきます。加えて、話し合い→自分の目標→実践→振り返り→次の目標という過程を大切にして自分で決め、自分から行動する経験を積み重ねていけるようにしていきます。